

## 『もったいない』は日本の合言葉？

(株)シモジマ 大貫 学



先日とある環境に関するイベントに参加し、自分自身深く考えさせられるブースがありました。

9月25日にガンで亡くなった、環境分野で初のノーベル平和賞を受賞したケニア人女性、ワンガリ・マータイさんの“『MOTTAINAI』 モッタイナイは、世界中のアイコトバ”の紹介のブースでした。

『もったいない』は、マータイさんが2005年に来日した際にもっとも感銘を受けた日本語でした。Reduce（ゴミ削減）、Reuse（再利用）、Recycle（再資源化）という環境活動の3Rをたった一言で表せるだけでなく、かけがえのない地球資源に対する Respect（尊敬の念）が込められている美しい日本語です。

ブース内で、マータイさんはこの美しい日本語で環境を守る世界共通語『MOTTAINAI』として広めることへの提唱、このMOTTAINAIキャンペーンは、地球環境に負荷をかけないライフスタイルを広め、持続可能な循環社会の構築を目指す活動が紹介されておりました。

私が育った30～40年前両親から、もったいないから蛇口を閉めなさい、もったいないから弟に譲りなさい、など『もったいない』という言葉が生活の中に氾濫していたことを思い出しました。

会社では部下に対して、家庭では子どもたちに、1日の生活の中で『もったいない』という言葉をはほとんど口にしていけない現実を知りました。皆さんは、日々の生活の中でどのくらいもったいないを感じ、もったいないを言葉にしているでしょうか？

私の子どもたちが成人になるころは、今の日本とは比較にならないくらい資源は枯渇し、生活レベルはより厳しい環境になることが予想されています。今のうちから、子どもたちに世界の共通認識を植え付けておく必要性を感じました。

家庭だけでなく、会社においても同様です。無駄なサンプル・カタログ・備品等『もったいない』は、至るところに存在しています。モノが溢れすぎていて、誰も気がつかないのが現実でしょう。

マータイさんが提唱した、『モッタイナイ』は、世界のアイコトバ。日本人として『もったいない』を日本の合言葉にしていくことが責務です。マータイさんに感謝と哀悼の気持ちを添えて。



緑化研修 募集

都心における壁面緑化、菜園見学会募集！

近年、壁面緑化の施工例が増加しています。従来はつる性植物を登はんさせた、時間をかけた緑化が主であった。近年は壁面に緑化用の基盤を設置する緑化、壁面にコンテナを設置し長尺つる性植物で緑化する手法が普及しています。

屋上緑化では、菜園、水田等栽培を伴う緑化が求められてきています。

今回は、壁面基盤型、壁面コンテナ型、壁面を修景的に装飾した事例と、屋上水田、人工地盤菜園、室内菜園を見学します。

いずれも道路脇等で1か所を長時間見学することが困難なため、移動しながら数多くの事例を見学します。



三菱一番館



パソナ

スケジュール

集 合	三菱一番館
見学・解説	三菱一番館庭園・円柱壁面
見 学	移動途中新丸ビル駐輪場
見 学	JAビル、経団連ビル屋上庭園、北面壁面緑化
見学・解説	日本ビル、新日鉄ビル間菜園
見学・解説	パソナ室内菜園、壁面緑化
解 散	
懇 親 会	



**日 時** 2011年11月25日(金)  
13:00 ~ 17:10 (~ 19:30 懇親会)

**場 所** 東京駅周辺

**内 容** 解説付きで壁面緑化を見学

**参加費** 会員 1,000円(税込) 当日支払、  
(非会員 2,000円)

**募 集** 30人(定員に達した時点で締め切り)

**対 象** 会員・生産者・設計施工業者…  
ほか、業界関係者

問合せ /NPOガーデンを考える会 TEL: 052-571-7911



カエデ  
kaede



## 第二回 震災支援活動報告

NPO法人ガーデンを考える会 会長 水野 隆

NPO法人ガーデンを考える会では、東日本大震災地域の小学校に対する支援活動として、6月の岩手県釜石市の小学校9校に引き続き、2回目の直接支援活動を110月の4～5日に会員有志12名で行いました。

今回の支援対象先は、宮城県気仙沼市の小学校13校で、その内の8校は支援物資のお届けで、5校は授業活動の一環として会員と共に花苗の植え込みを行いました。

支援内容としては、ピオラを主体とした花苗を約1,500ポット、チューリップの球根を約1,500球、それを植え込むコンテナ・培用土・肥料・植え込み用のスコップや手袋等を会員メンバー及び園芸業界被災地支援の会（中島吉之代表）から募り、寒さが厳しい東北の冬から早春まで、コンテナで育った花を楽しんで頂くというものです。

10月4日の午後に、東北新幹線一ノ関駅に集合して打ち合わせを行い、翌日は2班に分かれてレンタカー2台と会員企業の社用車2台に分乗し、小原小学校・鹿折小学校・九条小学校・中井小学校・唐桑小学校を訪れ、1年生から6年生まで多くの児童と共に、会員が植え込みの指導をしながら、夫々1時間程度をかけ行きました。また、その内の小原小学校では、隣接する仮設住宅30戸の住民との触れ合いを図るとのことから、児童と仮設の皆さんが大勢で和気あいあいと植え込みを楽しんでいただきました。

気仙沼市では港の周辺にて甚大な被害を受け、半年以上たった今でも、多くの児童に影響を与えているようです。植え込み中の1年生の、とても上手な児童に会員が声を掛けたところ、「家ではいつも花を植えてたから」との返事があり、それに続いて「でも流されちゃった」との言葉には、それ以上何も言えなかった…とのことで、改めて津波のもたらした被害の影響の深さを知らされた思いでした。

被災地域はこれから冬に向かうため、ガーデンを考える会の被災地小学校に対する園芸支援活動は一旦休止し、翌年の春から活動を再開する予定です。

半年以上も経って、ともすれば人々の中には被災地への関心が薄くなっていく心配が多少あるようにも感じられます。しかしながら、現地の状況はまだまだとても復興などと言えたものではなく、長期的な視野に立った支援が必要となっています。また、ただ単に物資や資金の支援のみではなく、ぜひ現地にての直接支援活動に参加し、花と緑で人々の心を支援する活動に参加して頂きたいと思っています。



### ■支援活動協賛会員等（敬称略）

アップルウエアー、キムラグリーン、さんこうえん、シモジマ、東和コーポレーション、豊明花き、中島商事、ハイボネックスジャパン、ハクサンインターナショナル、福島植物園、フラワーオークションジャパン、北越農事、緑のマーケット、緑花技研、園芸業界被災地支援の会



## ガーデントライアル IN 八ヶ岳 2011を終えて

生産者部会東海支部 (有)岐大花だん 所 明



生産者部会は、今まで栽培品目や規模、そして目指す経営が各々違いすぎるということからなかなか具体的な活動に移行することができませんでした。

そんななか、水野会長の勧めもあり皆でガーデントライアルに出展することとなりました。

出展するにあたり話は盛り上がりみせず、土壇場で打ち合わせを行い、役割を決め、実行しました。

準備不足で不十分ではあったが、ガーデントライアルを終えて皆が感じたことは「達成感」ではないかと思います。

そして同時に会員双方の距離も縮まり「仲間意識」が芽生えたことを実感したと思います。

私自身、今回学んだことは、各々経営環境は違うにせよ、同じ仲間であるということを確認合うことで次に進めることを学びました。

生産者部会は未だこのような現状ではありますが今回以上に仲間意識が高まるような活動を行い業界に貢献できるよう頑張りたいと思います。

ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

## 生産者部会より

### お得なパンジー

パンジーは開花期が長い、花数が多い、寒さに強いそして安価ということで初心者から上級者まで分け隔てなく楽しまれている花苗です。

話は変わりますが弊社の隣に分譲住宅が三年ほど前に「今風でシックな家」が八軒建ちました。住人は二十代から三十代の若い夫婦の方々に、つい先日も苗を分けてほしいということで温室にみえました。そこで「今は何を植えたらいいのですか?」という問いに「パンジーかな」と答えると「パンジーは家に合わないから植えたくない」と断られました。そこで私が「今はシックな花色もありますよ」と答えると興味を持たれ購入されました。

今回のやり取りで感じたことは花期が長い、多い、強い、安いなど「お得感」だけでは新たなユーザーを捉えることが出来ないことに気づきました。そして店先に並べておけば何時の間にか売れてしまう商材だからこそ新たな提案が必要だと感じました。 (有)岐大花だん (東海支部)



<http://www.rakuten.ne.jp/gold/kadanya/>